

第4回協議会の様子



第4回協議会のメンバー

<メンバー>

中山町自治会

中山小学校

緑警察署

横浜市緑土木事務所

<オブザーバー>

国土交通省横浜国道事務所

学識経験者

<事務局>

横浜市道路局施設課

協議会で頂いた主なご意見

令和元年6月5日に開催した第4回協議会では、中山町地区における速度抑制対策の課題と対策案について、地域の方々からご意見を頂きました。

- 素晴らしい取り組みであるので、進めてほしい。
- 社会実験時は、クランクの中で、ぶつかりそうになっていたの
で、狭さく型ハンプの方が安全だと思う。
- 渋滞中、バイクがすり抜けて危険に感じることがある。
- 落合公園前は、横断歩道とハンプの両方に注意する必要性
があるので、マンション前のように、スムーズ横断歩道に
してほしい。

これまでの取り組み

- 第1回協議会：課題共有、対策内容の紹介（平成30年8月31日）
- 第2回協議会：対策案の検討（平成30年10月1日）
ビデオ調査（社会実験中）（平成30年12月11日）
アンケート調査（平成30年11月22日～12月21日）
- 第3回協議会：対策の効果を報告（平成31年1月30日）
- 第4回協議会：対策案の検討（令和元年6月5日）



今後の予定

今後、対策案の検討結果や協議会の意見を踏まえ、本施工に向けて、住民の皆さまに対策案の説明及び調整を進めます。

- 対策内容の決定（6月）
- 住民の皆さまに対策案の説明及び調整（6～8月）
- 対策の施工開始（秋以降）
- 対策の施工完了（令和2年3月）

問合せ先・発行元

横浜市道路局施設課

電話(045)671-2785

担当：榎田、吉田



横浜市道路局施設課

中山町地区 交通安全対策協議会 ニュース

※住居表示の実施に伴い、地区の名称が変更されましたが、協議会と資料における名称はこのままで進めさせていただきます。



車両の速度抑制のための対策内容が決定しました！

みなさん、こんにちは！横浜市道路局です。

横浜市では、緑区中山町地区の生活道路において地域の方々と安全対策を進めています。第4回協議会では、緑区中山町地区における本施工時の対策内容について意見交換を行いました。

いただいたご意見と社会実験から得られた効果等を踏まえ、対象区間の通行時の安全性を高めるための速度抑制対策として「スムーズ横断歩道」や「狭さく」などの対策を実施することとしました。

<社会実験で得られた対策効果>

- ・安全対策実施により、**自動車の平均速度が7km/h低下**しました。
- ・スムーズ横断歩道により、ドライバーが一時停止し、**横断者に道をゆずる場面が増えました。**



社会実験前：平成29年11月22日～12月16日
社会実験中：平成30年11月22日～12月16日
※ETC2.0データ



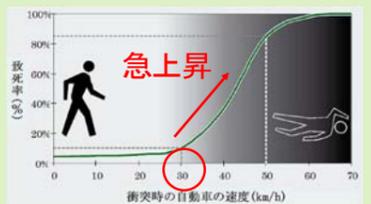
スムーズ横断歩道において、車・バイクが横断者に道をゆずっている



社会実験中のビデオ調査：平成30年12月12日（水）

時速30km/hに抑える理由

30km/hを超えると死亡事故に至る確率が急上昇します。住宅街では時速40～50km/hで走る車も多く、車のスピードを抑制することが大変重要です。



出典：Speed management - A road safety manual for decision-makers and practitioners -

目次

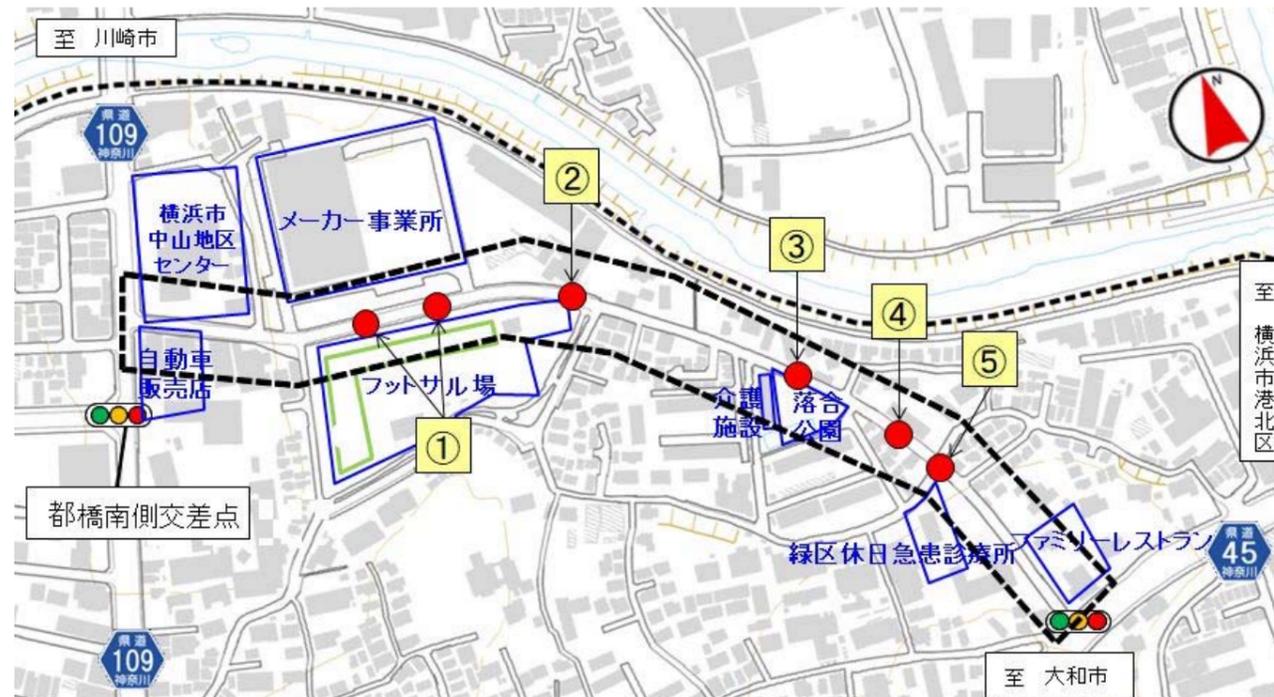
- 社会実験で得られた対策効果 1
- 速度抑制の対策内容 2,3
- 安全対策のねらいについて 3
- 協議会で頂いた主なご意見 4

<ハイライト>

- ・社会実験の結果、車両の速度抑制効果が確認されました。
- ・この結果と地域の方々の意見を踏まえ、対策を決めました。

速度抑制の対策内容

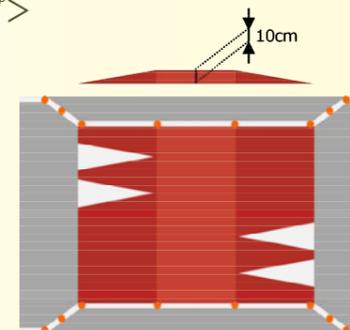
社会実験時の課題と地域の方々からのご意見を踏まえて、①～⑤の対策を実施することとしました。また、併せて対策の前後に「段差あり」、「幅員減少」等の路面標示も設置します。



安全対策のねらいについて

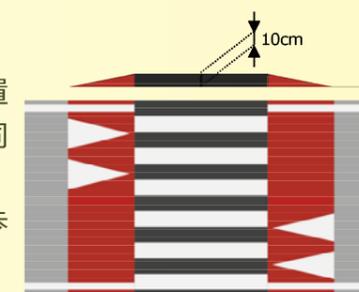
<両側の狭さく型ハンプ>

ハンプとは、道路に設けられた台形状の赤い凸部を設置することにより、車のスピードを低下させるものです。



<スムーズ横断歩道>

スムーズ横断歩道とは、横断歩道にハンプを設置し、横断歩道を歩道と同じ高さにするることにより、ドライバーに横断歩道を認識させるとともに、車のスピードを低下させるものです。



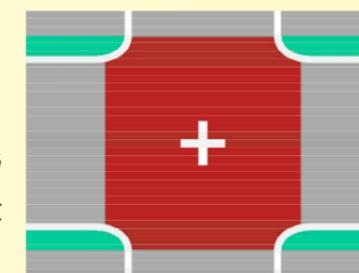
<片側狭さく>

狭さくとは、道路の一部を狭くすることにより、車のスピードを低下させるものです。



<交差点のカラー舗装>

交差点のカラー舗装とは、交差点内を赤く塗りつぶすことにより、ドライバーに交差点の存在を注意喚起するものです。



	①クランク型狭さく	②スムーズ横断歩道	③ハンプ	④片側狭さく	⑤対策なし
社会実験					
本対策 (イメージ図)					
変更理由	車のハンドル操作をしやすくし、効果的なスピード低下を図るため、狭さく型ハンプを設置	変更無し	歩行者が安全に横断できるようにするため、スムーズ横断歩道を設置	狭さくの位置を分かりやすくするため、ゼブラ帯とポストコーンを設置	ドライバーに交差点の存在を知らせるため、交差点のカラー化および車止め・ポストコーンを設置